



代表者/取締役社長 有友 廣充 氏

わが社の原動力は、 誇りとチームワークの良さ!!

試作車に使用される部品や試作板金の製作を手がけている、「ヒロミツ製作所」。アナログ、デジタルを融合させ、お客様の要望を第一に考えて全社一丸となって取り組み、同社の大きな原動力となっている「仕事への誇り」とスタッフの「チームワーク」を支えてこられた有友社長に、「ヒロミツ」のヒミツについてお話を伺った。

チャレンジを続ける企業として

先代社長は職人としての技術を大切にしながら、その一方で早くから設備のハイテク化を進めてきました。そして後継二代目である私もその流れをくんで、先進技術を積極的に導入する一方、アナログかデジタルの一方にとられることなく、その両方を融合させて他社にはできないものを目指してきました。そして、その根底には「仕事への誇り」と全社一丸となった「チームワーク」の良さがあり、わが社の原動力となっています。

サラリーマンから後継者へ

先代である父が当社を昭和37年に創業して以来、ダイハツ工業を始めとする大手自動車メーカーの自動車関連部品の試作板金を行ってまいりましたが、手作りのノウハウ・実績を積み重ね、「アナログ」から「デジタル」へという流れを先取りし、3次元レーザー加工機を関西の企業では初めて導入するなど先進の設備を積極的に取り入れてきました。

一方、私自身は、大学卒業後すぐに後継者となったわけではなく、3年ほどは製菓会社の営業で仕事をしていたが、父の薦めもあり会社を引き継ぐことにしました。父が仕事をする姿は、子供の頃からずっと見て仕事の内容を理解していたつもりでしたが、いざ自分がやるとなると、現実はその甘くはありませんでした。自分の未熟さを痛感するとともに、土日工場に出て機械に触れるなど必死に勉強しました。

デジタルとアナログの融合

～短納期と低コストの実現～

当社では、積み重ねた経験や勘がモノを言うアナログの技術に磨きをかける一方で、最新鋭設備機器やデジタル技術を他社に先駆けて積極的に導入するなど、そのバ

ランス感覚を失わないよう大切にしてきたことが当社の強みと言えます。例えば、立体にカットする機械である「3次元レーザー加工機」を関西の企業では初めて導入しましたが、新技術を形式的に導入するにとどまらず、私からはスタッフに対して、従来の常識にとらわれることなく、どんな有効活用ができるのか、徹底的に考えさせるようにしています。



また、作業の効率化・迅速化のためにも、既成品の治具を使用せずに自前の治具を開発・製作することにより、外注に要した日数及びコストを一気に削減し、同業他社と比べて圧倒的な短納期を実現するなど、他社との差別化を図ることに成功しています。

全社一丸となったお客様第一主義

私たちは、「できません」という言葉はタブー視しています。お客様からの要望に対しては、決してあきらめずに学び、挑み、お客様に喜んでいただける結果を導き出す、それが信頼に応えることであると考えているからです。先代からの教えとして、「困っている人がいたら、必ず助けるように」があり、この教えに従い、可能な限りお客様の要望に応えられるよう努力するとともに、スタッフ一人一人が強い責任感を持って仕事に取り組んでいます。このことが仕事への誇りにつながり、自ら考え行動する原動力となるのです。

働きやすい環境作り=チームワークの良さ

～幹部から社員全員まで情報共有～

- ・毎日、全員の朝礼と部署ミーティングを行い、連絡事項や苦情・クレームなどを確認することにしています。
- ・コーヒーサーバーや手洗い場には、当日の予定や来客者の有無、苦情・クレームやお客様から評価いただいたことなどを掲示して情報の共有化を徹底しています。

～柔軟な部署・職場の配置転換～

- ・欠勤に対応するため残業が必要な部署について、他の部署から応援をまわすなど柔軟な配置転換を行っています。

～スタッフ及びその家族との「絆」～

- ・家族も招いて、「職場の見学会」、「焼き肉パーティ」、「ボーリング大会」、「クリスマス会」の開催や「ヒロミツ新聞」の発行など家族の理解を深める活動を積極的に行っています。

～ティータイムのある工場～

- ・毎日、午前と午後1回ずつ「ティータイム」(休憩)があり、お菓子などを出して、仕事により集中できるきっかけ作りとして実施しています。
- ・周囲とコミュニケーションを取ったり談笑したりすることで、仕事上のトラブルの解決の糸口が見えたり、リラッ

クスできるなどの効果があります。

- ・スタッフが一丸となって働けるよう職場の雰囲気作りに大きな役割を果たします。

.....

以上の取組事例からおわかりいただけると思いますが、当社では、スタッフ間のチームワークの良さを非常に大切にしており、こういった取り組みの成果として、離職率の低さにつながっています。当社のスタッフは、23歳から79歳の熟練工まで幅広い年齢の職人がおり、マジメに明るく楽しく、日々技術を磨く中、アナログ技術の承継もスムーズに進んでいることも、当社の大きな強みとなっています。

最後に

お客様の要望が困難なものであるほど、それは私たちがチャレンジを続ける原動力になります。“ヒロミツでなければできない”といわれる取り組みを今後も積み重ねていき、スタッフが誇りと自信をもって働くことができる企業として成長できるよう努力して、お客様のご要望を第一に考えられるよう精進してまいります。



クリスマス会の集合写真(広報用カレンダー「夢がふくらむ試作板金」より)

Company Data

株式会社ヒロミツ製作所

代表者/取締役社長/有友 廣充
 所在地/〒610-0343
 京都府京田辺市大住池ノ端6-1
 設立/1962年
 資本金/1,000万円
 従業員/27人
 事業内容/各種(自動車)試作板金
 S/A(組み立て)、3次元レーザー加工、各種金型製作、各種ZAS型製作
 SUSマフラー製作



お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL: 075-315-8635 FAX: 075-315-9497 E-mail: kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp